

営農 担い手

県内企業によるJA金沢市でのWワーク実施

7月7日(日)、JA金沢市での西瓜集出荷作業での株式会社金沢村田製作所社員によるWワーク(アルバイト)が始まりました。

この取組みはJA共同施設における人手不足対策として取り組んだもので、昨夏の白山市の農業法人と同社のWワークの記事を目にした、JA金沢市からの要望で実現しました。

Wワークは7月21日(日)まで行われ、同社社員延べ15名が参加し、西瓜の荷降し作業を行いました。

また、同社では、白山市の農業法人でも昨年から引き続きWワークを実施しており、同社の取組み拡大に戦略室として今後も協力していきたいと考えています。



営農 担い手

GH農場評価員養成基礎講習会(7/24-25)

7月24日(水)ー25日(木)の2日間にかけて、JA石川教育センターでGH(グリーンハーベスト)農場評価員養成基礎講習会を開催し、JA・県職員あわせて12名が参加しました。

この講習会は、本年5月より運用開始した、いしかわGAP(認証基準2024)の認証取得を目指す農業者への適切な営農指導ができる人材育成を目的に開催しました。

講習会では座学によりGAP概要を学び、バーチャル農場でリスク評価を実施した後、グループディスカッションでは、それぞれの生産現場にどのようなリスクが潜んでいるか意見交換を行い、理解を深めました。

今回の参加者は、石川県GAP指導員リストに登録されることとなり、今後ますますの活躍が期待されます。

石川県GAP推進協議会では、引き続きGAPに関する適切な営農指導ができる人材育成を行っていきます。



7月9日(火)にかぼちゃワーキンググループ関係者でMVM商事向けのかぼちゃ栽培に取り組んでいる新潟県JA魚沼(旧JA十日町)を視察しました。

同JAは、令和2年からMVM出荷を行っており、本県と同じ時期に出荷を行う産地です。元々カボチャ産地として雪化粧(品種名)等を作っており、現在も市場出荷とMVM出荷の両方がありますが、生産者の要員確保が課題となるなか、MVM出荷に取り組んだ経緯があります。

圃場も2か所案内していただきました。山間の畑地と丘陵地の畑地で、それぞれ排水対策の心配がない圃場でありました。生育は良好で本年も順調な出荷が見込まれています。



県内の直売所における課題の解決と経営の安定化に資することを目的として、現場対応する実務担当者(直売所担当者・店長・県域担当者等)を対象に標記会議を7月10日(水)に開催しました。

会議では、産直品の拡大に向けて直売所間流通にかかる取り組みや野菜種子サンプルの配布による作付拡大提案を行ったほか、キャンペーン(「Choi celいしかわ産キャンペーン」、「全国直売所キャンペーン」)の実施内容の説明を行いました。

直売所連絡協議会では、県内JAグループ農産物直売所の課題解決に向け、以下の「3つの柱」の実現を目指して、具体的な取り組みを実行に移していきます。

産直品の拡大

生産者拡大(既存・新規)
県内・県間流通

店舗運営の効率化

人員配置・職員教育
営業時間

効果的なPR

店内PR、レイアウト
県下一体的PR(TVCM・キャンペーン)

JAグループ石川が継続展開する「Choice！いしかわ産」の認知度向上を図るべく、既存資材（ポスター・のぼり等）のほかに、今般、POP資材を作成・配布いたします。つきましては、各店舗での積極的なご活用にご協力願います。

「Choice！いしかわ産」資材

- ①資材：「Choice！いしかわ産」POP
- ②活用方法：JA直売所の陳列棚・平台等に設置。
- ③配布時期：8月中旬頃に店舗へ配布。



あわせて、乃木坂46の「国消国産」資材もリニューアルされましたので、現在展示中の、のぼり・ポスターとの交換をお願いします。

国消国産資材

- ①資材：のぼり、ポスター（乃木坂46 R6年度版）
- ②活用方法：JA店舗・直売所等に設置。
- ③配布時期：8月中旬以降、随時配布。



～8月以降の予定～

日時	内容
9月11日(水)	JA営農・経済フォーラム(東京)